

政策 6 産業基盤の維持・整備

目 的

産業活動や地域間交流を支える高速道路の整備を推進するとともに、航空路線の維持・充実を図ることにより、県外や県内各地との時間距離の短縮など、利便性の向上を図り、人や物の交流拡大を目指します。

県内全域において、超高速情報通信が利用できる環境の実現を目指します。

現 状 と 課 題

大都市圏から離れている島根にとって、高速交通及び情報通信ネットワークは、産業の振興を図る上で極めて重要です。

県内の高速道路の整備率は50%です。全国（70%）と比べて大きく遅れており、早期の整備が求められています。

大都市圏や国外と短時間で結ぶ航空路線の維持・充実を図っていく必要があります。情報通信の主流といえる光ファイバーなどによる超高速インターネットは、産業活動に欠かせない基盤となっています。

取 組 み の 方 向

山陰道及び中国横断道尾道松江線の早期整備を図るとともに、航空路線や港湾の維持・充実に努めます。

市町村・民間通信事業者と連携して、光ファイバーなどによる超高速インターネットサービスの普及など地域の実情に応じた整備を推進します。

成 果 指 標 と 目 標 値

成果指標	平成19年度		平成23年度
高速道路供用率	50%	➡	55%
光ファイバーによる超高速インターネットサービス利用可能世帯率	57.0%		62%

高速道路供用率は、計画延長に対する通行可能となった延長の割合です。

光ファイバーによる超高速インターネットサービスの利用可能な基盤が整備され、接続が可能な状態となっている世帯の割合です。

県が実施する施策

情報通信基盤の整備促進	・・・	P-142-
高速道路網の整備	・・・	P-144-
航空路線の維持・充実	・・・	P-146-
空港・港湾の維持・整備	・・・	P-148-

県民の皆さまへ

高速道路は、災害や事故発生時の代替路線や、高度医療施設への搬送時間短縮のためにも必要です。暮らしの安全・安心を願う立場から、多くの方々に高速道路が早くつながるよう、応援していただいています。

島根県では、沿線自治体や関係団体などと協力して、高速道路の利用促進に取り組んでいます。自動料金收受システム（ETC）を利用していただくと、料金所をスムーズに通過できるとともに、通勤割引などいろいろな割引制度が適用となります。県民の皆様が利用しやすいよう、今後も ETC 割引制度の充実に取り組んでいきますので、ご利用いただきますようお願いいたします。

〔取組み事例〕

【高速道路の早期整備に向けた取組み】

「ゆうひライン女性の会」は、浜田益田間の山陰自動車道早期整備を願い、また、生活者の視点から、これからの高速道路づくりや、高速道路を活用した地域づくりについて考えるため、益田市・浜田市在住の女性で結成された団体です。勉強会の開催や、高速道路工事現場の視察などを行い、早期整備を願う声などを県内外に発信しています。

【空港の利用促進に向けた取組み】

「益田商工会議所青年部」は、萩・石見空港の利用促進に向けて、首都圏や関西圏での街頭キャンペーン、マスコミに対する PR 活動、さらには地元での意見交換会の実施、空港でのイベント開催、住民に対する空港利用の呼びかけなど、他の団体と一体となつての積極的な活動を展開しています。